



## 様式2(施策)

### Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

・南部医療センター・こども医療センターでは、平成21年から医師不在により、こころの診療科が休診となっている。平成25年度内に再開を目指して取り組みを行っている状況であり、南部医療センターの拠点病院、基幹的な病院という特徴からも、相談支援機関リストや医療機関リストを活用し、地域の医療機関につないでいく必要がある。

### Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

・これまでの発達障害児(者)支援に関する取組や普及啓発等により、これまで潜在的であった相談・支援を必要とする人の数が増加しており、医療従事者の養成や、医療機関及び市町村等との連携、情報の共有化を図り、医療機関支援体制の整備を促進する必要がある。  
・研修等により、医療機関への理解が深まり、発達障害児(者)支援協力医療機関の増が見られる一方、特定の医療機関に受診が集中する等の問題がみられ、結果として発達障害診療を行っている医療機関が減となる状況もみられる。

### Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

・南部医療センター・こども医療センターにおける平成25年度内のこころの診療科再開に向け、医師の確保を図るため、医師を県外研修に派遣している。  
・発達障害の診療を行っている回答した医療機関を受診し、そこを經由して拠点病院となる南部医療センターを受診した上で、療育が必要な人、医療が必要な人と支援を振り分けていくようなネットワーク構築を図る。  
・医療機関リストの更新、医師のスキルアップのための研修を継続し、地域の医療機関の支援体制を整備することにより、これまで潜在的であった相談・支援ニーズに対し、医療や療育の支援を行う。  
・発達障害診療を行っている医療機関の増加を図るために、医療機関従事者に対する普及啓発や情報提供を通じて、医療分野の支援者を養成することや、医療機関及び市町村等との連携、情報の共有化を図り、特定の医療機関に受診が集中することがないようにネットワーク構築を図る。